県連大会発言 第1分散会

松井雅代・代議員（杭ノ瀬） 女性部の高齢化が深刻。組織されていない女性部へのとりくみと若い女性への働きかけや学習会が必要。

田中菜水・代議員（杭ノ瀬） 青年部活動の活性化にむけたとりくみを考えているが、高校生まで活動をしていても、仕事の関係で離れていく。青年の仕事保障が必要。スポーツ交流会を提起しているが、できていない。

玉置和也・代議員（湯浅） 戦後のえん罪事件が次々と再審開始決定されているなか、狭山事件について県連のとりくみの方向をきかせてほしい。青年部でも独自の学習会でできることがないかと士気が高まっている。

中本歩・代議員（新宮） 新宮には産業がなく、青年が県外に流失している。子ども会活動をとおして支部活動をおこなっている。産業・就労対策として新たな雇用創出が必要である。

磯岡靖美・代議員（湯浅） 介護保険制度が改悪され、サービスの後退が予測される。県連としてどのようにとりくむか。

石本真理子・代議員（湯浅） 「障害者差別解消法」の施行にむけ、地方公共団体に差別の禁止が義務付けられたが、国や県の方針がまだなので、県への働きかけと学習会をしてほしい。

寺本典司・代議員（橋本） 福祉関連施策の情報を提供してほしい。情報の共有が必要。

中井富男・代議員（田辺） NPOヒューマンライツ田辺で隣保館の指定管理を受けても国の補助金がなくなるという問題点があり、現在活動休止中。NPOの活動について方針を示してほしい。

江川みはと・代議員（湯浅） 07年にヒューマンライツ湯浅を設立して、高齢者の見守りや夏の夕涼みなどとりくんできた。現在の就労相談活動は、今年度で補助金がなくなる。地域の雇用につながるとりくみを県連として協力をしてほしい。

小西則夫・代議員（那賀） 紀の川市西井阪に記念館をつくるとりくみが「西光万吉を偲ぶ会」を中心にとりくまれている。県連としての協力をお願いしたい。

また、県出身の国会議員のスタンスについて、来年の統一地方選挙で組織内候補の必勝にむけてとりくむ必要がある。

巽一之・代議員（古和田） 西光万吉関係資料の保存運動にとりくんで「人の世に熱あれ人間に光あれ」の碑も建てられた。「偲ぶ会」を法人化して、後世に伝えていく方針であるので、県連として協力をしてほしい。

細川健次郎・代議員（御坊） 東南海地震について、津波対策としてライフジャケットの購入に補助金を。

第2分散会

岸田貴裕・代議員（杭ノ瀬） 解放運動を担う青年部の結成が急務である。

金田麻央・代議員（杭ノ瀬） 若年層の仕事保障について、スポーツ交流会の開催について、各支部で多くの青年との交流で課題解決に向け話し合う機会が必要。

中島智佐・代議員（湯浅） 月1回、狭山事件の学習会を実施し、青年の交流や親睦を深めるための活動にとりくんでいる。

狭山を知らない青年たちにも力になるよう狭山現地学習や学習会の企画を立ててほしい。

磯﨑美幸・代議員（新宮） 母子家庭の比率が高く、学童保育も費用がかさむ。働く女性のサポート体制を行政闘争で重点課題としてとりくんでほしい。

山本潤・代議員（古和田） 紀の川市にある西光万吉の自宅が処分されようとしているが「偲ぶ会」で保存しようとしている。県連や各支部の協力をお願いしたい。

竹中多恵子・代議員（湯浅） 07年にヒューマンライツ湯浅を立ち上げ、2月に活動の拠点となる地域ふれあいサロンだんらんを開設し、50日でのべ1400人に利用してもらった。しかし、就労相談・見守り事業は本年度までの委託事業で来年度は継続できない。地域で活動するNPOが安定した活動ができるように国・県行政に働きかけをお願いしたい。また、来年の統一地方選挙で2期目になる石本一也・支部長の応援をお願いする。

宮本睦・代議員（那賀） 地域共闘の今後の組織化・活動をどうしていくのか。狭山事件について、10数回三者協議が開催されてすすんでいるようにみえるが、狭山事件は（3ページへ続く）

先達から学ぶ女性の闘い
全国女性集会

部落解放第59回全国女性集会が5月10日、11日、奈良県文化会館でひらかれ和歌山から48人が参加した。

オープニングでは奈良県女性部による構成詩が披露された。全国水平社第2回大会で婦人水平社の創立を決定し、女性運動の広がりをみせたが長くはつづかず、いま、女性の解放運動があるのは先達たちの闘いがあったからであると朗読された。また、今回のポスターと冊子のデザインは西光万吉、駒井喜作、阪本清一郎による「燕会」をモチーフにしたものであることが説明された。

水平社宣言朗読のあと、解放歌の流れるなか、平井支部の岩崎フミ子さんと善明寺支部の春名輝代さんが荊冠旗入場をした。

主催者あいさつで組坂繁之・中央執行委員長は、憲法改悪やヘイトスピーチといった差別排外主義が拡がり、平和と人権が危険な状況になっている。厳しい状況ではあるが女性の連帯と協同のとりくみを強化し、この2日間有意義な討議をしていただきたいとあいさつした。

山崎鈴子・中央女性運動部長が基調提案をし、第71期全国大会で岸田章子・女性運動部長と福田登勢子・女性運動部副部長が勇退され、新たな体制でとりくむことが報告された。

記念講演は「戸籍等不正取得事件と本人通知制度の課題」と題して片岡明幸・中央財務委員長から、個人情報が高額で売買されている実態について本人通知制度の重要性について説明された。

2日目は7つの分科会に分かれ、県連から第4分科会「女性の文化活動・識字活動の課題」で竹本雅世さんが岩橋識字生から指導者になるまでを報告し、第6分科会「女性差別について考えよう」で山本昌代・女性対策部員（当時）が司会を務めた。

女性の連帯をうったえる組坂中央執行委員長

今後の日程

（7月）

7／15	ふれあい人権フェスタ2014 全体会議（ビッグ愛）
7／17～18	第71期企業・産業振興部 夏期実務者研修会（神戸市）
7／18	和歌山県人権施策推進協議会との交渉・生活福祉運動部会議（自治会館）
7／19	被爆69周年非核・平和行進
7／20	岩橋支部大会（文化会館）
7／23	狭山ビラ統一行動 伊都地方こころの研修（かつらぎ総合文化会館） 全国労働政策運動部長会議（中央本部） 厚生労働省交渉（東京）
7／29	Y住宅販売会社差別事件第2回糾弾会（中央本部） 芦原支部大会（文化会館）
7／31	人権啓発シリーズ講座第1回（中央コミュニティセンター）

支局からのお知らせ

お気軽にお電話を！

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

（発送先）〒640-8314
和歌山市神前405-3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛